

令和2年度

事業報告書

〔事業報告及び事業報告の附属明細書〕

自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

社会福祉法人大野町社会福祉協議会

【事業報告書】

はじめに

少子高齢化や核家族化、高齢者世帯の増加、価値観の多様化などを背景に、地域社会のつながりや関心の希薄化が問題になっています。また、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて全国のさまざまな活動が停滞する事態となり、影響は地域住民の交流や見守りなどの地域福祉活動や、ボランティア活動にも及び、高齢者を中心に、家に留まることで心身ともに虚弱や社会的孤立に陥ることが懸念されるなか、地域住民の複合化・多様化した支援やニーズに対応するため、地域課題を把握し、解決していくことができる包括的な支援体制づくりが求められました。

本会は、『「助けあい」「支えあい」で育む 笑顔があふれる おおの』を基本理念とした「大野町地域福祉活動計画」に基づき事業を実施しました。「地域力を高めるまちづくりの推進」への取組みとしては、地区公民館単位で、民生委員児童委員・福祉委員の連絡会を通じた小地域の課題を共有し、見守り支援体制の基盤づくりを行いました。また、コロナ禍において、地域コミュニティや日常での人とのつながりが、安心した生活を送るうえでいかに大切かを再認識する機会となり、住民が主体となった新たなサロンの立上げに向けた動きも活発に進みました。「暮らしの問題を気軽に相談できる体制の構築」に向けた取組みとして、認知症高齢者の方などが地域において自立した生活が送れるよう行政等と連携し、適切な支援体制の構築を図りました。「安心・安全に暮らせる環境づくり」への取組みとしては、在宅での生活者に軽微な福祉サービスを提供する、住民参加型地域生活支援サービス活動団体を補完的に支援し、住民同士の支え合い活動を推進しました。

福祉施設運営について、高齢支援部門の訪問介護事業と居宅介護事業におきましては、介護サービス利用に向けたプラン作成や、きめ細やかなサービス提供に努めることで日常生活が継続できるよう支援してまいりました。障がい者支援部門におきましては、新型コロナウイルスをはじめとした多様な要因の影響を受けて変化する障がい当事者とその家族のニーズに対応し、関係機関との連携により地域社会において質の高い生活を継続できるように支援しました。子育て支援部門におきましては、福祉サービスの質の向上を目指し、第三者評価を継続受審しました。また、十分な職員配置を行うことで、一人一人に寄り添う時間の確保や、支援が必要な園児に対して手厚い保育が提供できるようにしました。

令和2年度の事業報告は次のとおりです。

1 法人運営事業

財 源：会費、寄附金、町補助金、町受託金 事業費：29,983千円
 体 制：正職員3名（内兼務1名）

(1) 運営体制の強化

令和元年度事業・決算報告、令和2年度補正予算、令和3年度事業計画・予算をはじめ、理事及び評議員の選任、経理規程改正等を審議した。

※新型コロナウイルスの影響により、理事会2回、評議員会2回を书面決議により可決した。

【理事会・評議員会等開催及び出席状況】

| 会議名 | 実施日 | 理事(名) | | 評議員(名) | | 監事(名) | 外部委員(名) | 議案(件) |
|-------------|---------------|-------|----|--------|----|-------|---------|-------|
| | | 出席 | 欠席 | 出席 | 欠席 | | | |
| 理事会 | 令和2年 5月29日(金) | 書面 | — | — | — | 書面 | — | 6 |
| 評議員会 | 令和2年 6月15日(月) | — | — | 書面 | — | — | — | 4 |
| 理事会 | 令和2年10月21日(水) | 7 | 2 | — | — | 1 | — | 4 |
| 評議員選任・解任委員会 | 令和2年10月27日(火) | 1 | — | — | — | 1 | 2 | 1 |
| 理事会 | 令和2年11月27日(金) | 書面 | — | — | — | 書面 | — | 3 |
| 評議員会 | 令和2年12月17日(木) | — | — | 書面 | — | — | — | 1 |
| 理事会 | 令和3年 3月12日(金) | 7 | 2 | — | — | 2 | — | 5 |
| 評議員会 | 令和3年 3月26日(金) | — | — | 9 | 6 | 2 | — | 4 |

(2) 財政基盤の強化

「社協だより」等を通じて本会の役割を啓蒙し、広報委員のご協力により会員の拡充を図った。一般会費は広報委員を通じて各地区に協力を依頼し、法人会費についてはダイレクトメールにて、納付書による振込を依頼した。

【会費納入状況】

| 年度 | 一般会費 | 特別会費 | 法人(賛助)会費 | 合計(口) | 金額(円) | 前年対比(%) | 納付率(%) |
|-----|-------|------|----------|-------|-----------|---------|--------|
| R2 | 6,621 | 1 | 104 | 6,726 | 3,832,500 | 98.9 | 82.2 |
| R1 | 6,618 | 1 | 113 | 6,732 | 3,876,000 | 100.1 | 83.2 |
| H30 | 6,603 | 1 | 114 | 6,718 | 3,871,500 | 100.7 | 83.8 |

1口：一般会費 500円／特別会費 2,000円／法人(賛助)会費 5,000円
 納付率：当該年度4月1日の世帯数に対する値

【寄附金収入状況】

| 年度 | 口数(口) | 金額(円) | 前年対比(%) |
|-----|-------|-----------|---------|
| R2 | 10 | 1,046,990 | 449.7 |
| R1 | 6 | 232,800 | 85.5 |
| H30 | 10 | 272,128 | 57.1 |

【共同募金配分金額】

(単位：円)

| 年度 | 合計 | 一般募金 | 歳末たすけあい | 前年対比(%) | 共同募金額(参考) | 配分率(%) |
|-----|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|--------|
| R2 | 2,088,836 | 1,531,450 | 557,386 | 73.7 | 4,006,509 | 52.1 |
| R1 | 2,835,139 | 1,648,579 | 1,186,560 | 98.2 | 4,005,755 | 70.8 |
| H30 | 2,887,499 | 1,765,159 | 1,122,340 | 100.0 | 4,065,288 | 71.0 |

(3) 社会福祉功績者表彰式

福祉活動に対する協力者に対して感謝の意を表し、福祉のまちづくりをさらに推進することを目指し、社会福祉功績者表彰式を大野町表彰式典時に執り行った。

実施日 令和2年10月3日(土) 場所 町総合町民センター

| 区分 | 被表彰者 | 該当者(名) |
|-----|-----------|--------|
| 表彰状 | 福祉委員 | 2 |
| | 社会福祉団体役員 | 4 |
| | 民生委員・児童委員 | 1 |
| 感謝状 | 金品寄附者 | 1 |

(4) 福祉用具貸与

介護保険対象外の高齢者、身体障がい者及び一時的に福祉用具が必要な方などに福祉用具の貸出を行った。

【貸与状況】

| | 所有(台) | 貸出中(台) |
|--------|-------|--------|
| 車いす | 34 | 17 |
| 手動式ベッド | 2 | 2 |

(5) 福祉団体等への活動支援

各種団体の自立的な活動を支援し、助成することにより社会福祉活動及び自主運営の促進を図った。

| | |
|---------|------------|
| 助成金交付団体 | 8団体 |
| 助成金交付金額 | 1,368,753円 |

(6) 福祉委員活動の支援

各地区から推薦され本会にて委嘱した福祉委員が、サロン活動等への参加・協力を通じた地域での関係づくりと見守り活動の推進を行った。また、新型コロナウイルスの影響により、地域の繋がりが減少・長期化している現状を踏まえ、見守り支援対象者の把握と情報共有を目的に、民生委員・児童委員との連絡会を実施し、活動への認識を深め、支援する取組みを行った。

【民生委員児童委員・福祉委員連絡会】

| | |
|------|--|
| 実施期間 | 令和2年11月12日(木)～12月2日(水) |
| 場 所 | 各地区公民館 多目的ホール |
| 内 容 | 見守りマップ作りを通じた支援体制づくり (見守り支援対象者及び地域課題、集いの場等の情報共有) |
| 参加者 | 91名 (民生委員・児童委員33名、福祉委員58名) |



(7) 広報活動の充実

地域福祉活動に対する理解や、本会の各種事業への参加や理解を得られるように、広報委員の協力を得て「社協だより」を各世帯へ配布するとともに、ホームページを活用した情報提供を行った。

(8) 地域福祉活動計画に基づく福祉事業の推進

平成31年3月に策定した大野町地域福祉活動計画に基づき、地域における様々な福祉課題について町と連携を図りながら、目標に沿った事業の実施を行った。

2 ボランティアセンター事業

財 源：会費 事業費：173千円

体 制：正職員1名(兼務)

ボランティア活動への積極的な参加促進のため、広報活動を実施し地域住民へ向けての啓発を行った。また、ボランティア連絡協議会と連携を図り、ボランティアに関する情報提供、養成講座による人材育成など、自主的な活動に繋がるよう相談や連絡調整等の支援を行った。

(1) 広報活動による啓発

「社協だより」に、ボランティア団体の活動紹介や会員募集を掲載し、地域住民がボランティア活動に関心を持ってもらうよう意識啓発を図った。

(2) ボランティア支援

ボランティア活動を希望する住民に対して、ボランティア団体の紹介及び活動に関する相談援助や連絡調整をメールや電話等を利用して行い、地域住民の主体的な活動を支援した。

| | 区分 | 相談(件) | 調整(件) |
|-------|-----|-------|-------|
| ニーズ件数 | 個人 | 7 | 7 |
| | 団体等 | 3 | 3 |

(3) 災害ボランティアセンターの体制整備

大規模災害発生時に開設する災害ボランティアセンターの円滑な運営を行うため、地域住民対象の災害ボランティアコーディネーター養成講座を実施し、災害ボランティアの人材育成を行った。

(新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、受講者数を制限し、町防災訓練内にて講座を実施)

| | |
|-----|--------------------------------|
| 実施日 | 令和2年10月18日(日) |
| 場 所 | 町福祉センター 多目的室及びロビー |
| 内 容 | 災害ボランティアコーディネーター養成講座 (町防災訓練参加) |
| 受講者 | 28名 (ボランティア19名、長職員2名、本会職員7名) |



(4) ボランティア連絡協議会との連携

新型コロナウイルスの影響により、ボランティア活動や場所が制限された為、メールや電話を利用して、ボランティア会員と連携を取り、活動状況の把握や相談などの活動支援を行い、活動意欲の維持に努めた。

【登録団体数 13団体 (311名)】

◇広報おおの録音版作成支援 (音訳の会そよかぜ) : 活動用機材助成事業の申請支援

◇ふれあい食事サービス支援 (ニコニコ会) : 活動検討会議の開催支援

◇家具固定普及支援 (みんなの防災ねっと) : 広報活動支援

◇おもちゃ病院活動支援 (おもちゃ病院「かき工房」) : 受付窓口及び広報活動支援

(5) 共同募金街頭募金運動への協力

新型コロナウイルスの影響により、募金会場となるイベントの中止や、対面での活動に伴う感染のリスクを防ぐ為、ボランティア連絡協議会及び小中学生児童生徒による街頭募金運動を中止した。

令和2年11月3日(火) 大野フェスタ・木育フェア2020中止

令和2年12月3日(土) 道の駅パレットピアおおの街頭募金中止

(6) ボランティア活動保険加入促進

町内のボランティア活動者の保険加入手続きを行った。なお、ボランティア連絡協議会会員には、保険料の補助を行い活動を支援した。

【保険加入者数 240名】

3 生活福祉資金貸付事業

財 源：県社協受託金 事業費：701千円

岐阜県社会福祉協議会の委託により、民生委員・児童委員と連携を取り、低所得者、障がい者及び高齢者に対し、資金貸付事務と償還事務及び必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的として相談援助を行った。

(単位：件)

| 区分 | 令和2年度 | | | | 令和元年度 | |
|--------------|-------|------|------|------|-------|------|
| | 窓口相談 | 貸付決定 | 償還完了 | 現在貸付 | 窓口相談 | 貸付決定 |
| 緊急小口資金 | 2 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| 総合支援資金 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 |
| 福祉資金 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 0 |
| 教育支援資金 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 |
| 緊急小口資金(特例貸付) | 81 | 74 | 0 | 75 | 5 | 1 |
| 総合支援資金(特例貸付) | 39 | 26 | 0 | 26 | — | — |
| 合計 | 122 | 102 | 1 | 109 | 14 | 1 |

4 心配ごと相談事業

財 源：会費、町補助金 事業費：159千円

民生委員・児童委員、人権擁護委員、行政相談員、弁護士に相談員として協力いただき、地域住民の日常生活での困りごとなどを対象とした相談所を開設した。

| 相談日 | 時間 | 場所 | 相談員 |
|-------|-------------|---------|------------------|
| 第1火曜日 | 午後1：00～3：00 | 町福祉センター | 民生委員・児童委員、人権擁護委員 |
| 第2火曜日 | | | 民生委員・児童委員、行政相談委員 |
| 第4火曜日 | | | 弁護士 |

【相談内訳】

(単位：件)

| 区分 | 生計 | 職業 | 住宅 | 家族 | 結婚 | 離婚 | 健康 | 医療 | 人権 | 財産 | 事故 | 教育 | 福祉 | 苦情 | その他 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|
| 令和2年度 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 4 | 2 | 0 | 15 | 16 | 1 | 0 | 0 | 0 | 12 | 54 |
| 令和元年度 | 0 | 4 | 1 | 7 | 0 | 6 | 0 | 0 | 28 | 18 | 0 | 0 | 0 | 2 | 6 | 72 |
| 平成30年度 | 2 | 2 | 2 | 4 | 0 | 4 | 0 | 0 | 25 | 16 | 2 | 0 | 1 | 3 | 10 | 71 |

5 福祉サービス利用援助事業

財 源：県社協受託金 事業費：334千円

体 制：非常勤パート2名（生活支援員専従）

◇日常生活自立支援事業

岐阜県社会福祉協議会の委託により、判断能力が不十分な方が地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービスを、生活支援員と連携して支援を行った。

| | |
|-------|----|
| 契約継続数 | 4件 |
| 生活支援員 | 2名 |

6 生活困窮者自立支援事業

財 源：県社協受託金 事業費：197千円

生活困窮者の早期発見と自立支援に向けて、県福祉事務所・役場との連携により、包括的・継続的な支援を図れる体制を取った。

7 福祉推進事業

財 源：会費、町補助金 事業費：772千円

体 制：正職員1名（兼務）

(1) カフェ活動支援事業

新型コロナウイルスの影響により、まちカフェの開催を中止したが、ボランティアスタッフと運営体制についての会議を開催し、再開に向けた意見交換と活動意欲の維持に努めた。

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 令和2年8月27日(木)、10月29日(木)、12月10日(木)、令和3年3月4日(木) |
| 内 容 | 開催方法の検討及び意見交換 他市町の新たな活動紹介、会場清掃等 |
| 参加者 | 延人数 18名 |

年間48回開催予定 新型コロナウイルスの影響により中止

(2) 小地域支え合い活動推進事業

小地域の交流、居場所づくり、見守り等の活動に向けて、ケア会議や民生委員児童委員・福祉委員連絡会等での地域課題を拾いあげ、サロン立上げに向けた検討会議を地域等に出向き実施した。

【ふれあいいきいきサロン立上げ支援】

| | |
|-----|----------------------------------|
| 地 域 | 黒野東区、桜大門区、古城北区、瀬古区、北領家区、島部区 |
| 内 容 | 立上げ検討会議 16回 (立上げ、お試し稼働準備、助言等) |
| 参加者 | 延人数 88名（民生委員・児童委員、福祉委員、ボランティア） |



(3) 福祉教育の推進

地域福祉の担い手となる小学生を対象に、福祉体験の機会を提供する為、出前講座を実施した。車いす介助や器具を使用した疑似体験を通し、高齢者や障がいのある方への接し方や気持ちを正しく理解し、関心を持つことで地域や家族の支えあいの大切さについて考える機会を持った。

【福祉出前講座】

| | |
|------|-------------------|
| 実施日 | 令和2年12月18日（金） |
| 場 所 | 大野町立南小学校 体育館 |
| 内 容 | 「車いす体験」、「高齢者疑似体験」 |
| 参加者数 | 43名（6年生児童2クラス） |



(4) 生活支援体制整備事業

高齢者等の生活を支援する体制を整備するため、地域のサロン等の集いの場に出向き、地域課題や住民主体の活動・資源の把握に努めた。また、揖斐郡生活支援コーディネーター会議に出席し近隣の状況や課題の共有を行い活動に活かした。

| | |
|------|---|
| 内 容 | サロン立上げ支援(稼働準備、助言等)、民生委員福祉委員連絡会、生活支援団体支援・ケア会議等出席(地域課題の把握、情報提供) |
| 活動件数 | 73件 |

(5) 生活支援サービス活動団体支援事業

在宅での生活者に軽微な福祉サービスを提供する、住民参加型地域生活支援サービス活動団体の活動定着のため、補完的な支援を実施した。

【有償・無償ボランティア活動支援】

| | |
|-----------|--|
| 団体名及び支援内容 | くらし応援隊ちよいサポ 団体活動調整会議等の開催 14回 (利用者及びサポーター活動支援等) |
| | 豊木団地V T会 立上げの助言、活動保険助成等 |

【勉強会の開催】

| | |
|-----|--|
| 実施日 | 令和2年10月22日(木) |
| 場 所 | 町総合町民センター |
| 内 容 | 生活支援サービスが求められる社会的な背景(講義) コミュニケーションと基本マナー(グループワーク) |
| 参加者 | 会員10名 ※受講者15名想定 |



【ちよいサポ定例会議】

8 共同募金配分金事業

財 源：共同募金配分金

体 制：正職員1名(兼務)

地域から寄せられた共同募金及び歳末たすけあい募金の配分を受け、支え合う地域づくりを目指した交流事業やサロン活動などの事業に活用した。

(1) 一般募金配分金事業 (事業費：1,263千円)

◇福祉のふれあい広場

- ・令和2年10月3日(土) 新型コロナウイルスの影響により中止

◇ふれあい食事サービス「ニコちゃん弁当」

- ・年間9回実施予定 新型コロナウイルスの影響により中止(利用申込者76名)

【ボランティア講座】

新型コロナウイルスの影響により、活動が長期休止していたため、ボランティア会員の活動意欲の維持と円滑な再開に向けて、食品衛生講習会を開催した。

| | |
|-----|---|
| 日時 | 令和2年9月8日(火)・11月18日(水) |
| 場所 | 総合町民センター多目的ホール、町福祉センター調理室 |
| 内容 | 「食品衛生講習会」 講義：お弁当調理における衛生管理と食中毒予防 実習：手洗いチェッカーを使った手洗い実践 |
| 参加者 | 24名 |

・新型コロナウイルスの感染防止のため、2回に分けて実施した。

◇往復はがきによる絵手紙交流事業

新型コロナウイルスの影響により、一人暮らしの高齢者の閉じこもりや健康不安を解消するため、ニコちゃん弁当申込者76名に往復はがきを使った絵手紙を郵送した。返信により高齢者の現状やニーズを地域の民生児童委員と情報共有し、地域の支えあい活動に繋ぐとともに、訪問や電話等による支援を行った。

| | |
|-----|-------------------------|
| 実施月 | 7月、10月、2月(3回郵送) |
| 内容 | 絵手紙教室 藤田涼子講師と生徒さん作製の絵手紙 |
| 返信 | 返信延数 53通 |

◇バースデイ花束プレゼント

町内在住の95歳、100歳の在宅高齢者にご長寿のお祝いとして誕生日に花束をお届けした。

◇ふれあい・いきいきサロン継続事業

新型コロナウイルスの影響により、サロン活動が一部を除き、休止状態となっていたことを踏まえ、代表者交流会を実施した。新たな取組みを実施するサロンの紹介や情報交換の場を設け、新型コロナ感染予防対策を取り入れた活動の再開に向けた支援と、サロン継続に関する課題の把握に努めた。

【サロン代表者交流会】

| | |
|------|---|
| 実施日 | 令和2年7月29日(水) |
| 場所 | 総合町民センター |
| 内容 | 新型コロナウイルス対策のポイント コロナ禍での新たなサロン活動の取組み紹介 活動状況等の情報交換(グループワーク) |
| 参加者数 | 24名 (13サロンスタッフ19名、立上げ検討地域3地区5名) |

【ふれあいいきいきサロン開催】

| 年度 | 実施(ヶ所) | 登録者(人) | 延開催(回) |
|--------|--------|--------|--------|
| 令和2年度 | 20 | 579 | 76 |
| 令和元年度 | 19 | 584 | 184 |
| 平成30年度 | 19 | 545 | 202 |

※新型コロナウイルスの影響により中止有

【補助金の交付】

19のサロンに対し開催予定月数に応じた補助金交付

| | |
|--------------|----------|
| 月額1,500円*86回 | 129,000円 |
|--------------|----------|

【サロン保険加入】

サロン参加者への保険加入手続き及び保険料負担

| | |
|------------|---------|
| 1人13円*開催日数 | 28,249円 |
|------------|---------|

【講師派遣】

講師による講座等の案内、希望サロンへの講師派遣

音楽療法講師料 1回8,000円/各サロン1回のみ補助

| | |
|------------------|---------|
| 補助1回 8,000円*5サロン | 40,000円 |
|------------------|---------|

当初15サロン派遣依頼・新型コロナウイルスの影響により10サロン中止

◇地域見守りネットワーク活動支援事業

ひとり暮らしの高齢者など、要支援者の迅速な救急活動につながる「安心カード」を民生委員・児童委員と連携し、地域での普及に努めた。

| | |
|--------|--------|
| 延べ登録人数 | 2,945名 |
|--------|--------|

(2) メニュー事業配分事業 (事業費：72千円)

◇ふれあい・いきいきサロン支援事業

【サロン立上げ支援】

サロン活動や立ち上げの案内を「社協だより」や民生委員児童委員・福祉委員連絡会で紹介し、サロン活動の啓蒙を図った。また、黒野東区、桜大門区、古城北区、瀬古区、北領家区、島部区において、区長、民生委員・児童委員、福祉委員、ボランティアとの面談を行い、地域のサロン立ち上げに向けた支援を行った。

サロン代表者交流会 令和2年7月29日(水) 参加者24名

(3) 歳末たすけあい募金配分金事業 (事業費：563千円)

◇在宅援護事業

新たな年を迎える時期に支援を必要とする方や福祉施設へ見舞金品の配布を行った。

| 対象 | 配布物 | 該当者数(人) |
|------------|-------------|---------|
| 要介護4・5 該当者 | 見舞品(バスタオル等) | 26 |
| 身体障がい者手帳 | 見舞金 | 22 |
| 療育・精神手帳 | 見舞金 | 35 |
| 準要保護世帯 | 見舞金 | 1 |
| 要支援世帯 | 見舞金 | 2 |
| 福祉施設 | 見舞金 | 4(施設) |

◇高齢者交流事業【新春ふれあい食事会】

ひとり暮らし70歳以上の高齢者を招き、民生委員・児童委員及び福祉委員の協働による交流会を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止したため、代替事業として、民生委員児童委員・福祉委員の連絡会を各地区公民館で開催し、地域課題や情報共有を通じた見守り体制づくりの支援を行った。

◇障がい者交流事業

令和2年11月 視覚障がい者と音訳ボランティア親睦交流会 新型コロナの影響により中止

◇貸出用具整備事業

サロン活動や地域行事等に使用するレクリエーション用具及び福祉用具、新型コロナウイルス対策用の体温計等の整備を行い、地域事業に活用した。また、地域サロンへ高齢者が参加しやすい環境を整えるため、サロン会場の状況確認を行い、手すり設置の要望があったサロンをモデル事業として、試験的な貸出しを行った。

| | |
|-----|-------------------------|
| 貸出先 | 地域サロン、ボランティア団体、自治会、公民館等 |
| 件数 | 28件 |

◇地域福祉啓発・普及事業

歳末寄せ植え教室を利用し、参加者に対して本会や共同募金のしくみについて、地域住民に周知する場を設け、福祉事業への理解を深めた。

| | |
|------|--------------|
| 実施日 | 令和2年12月9日(水) |
| 場所 | 町福祉センター ホール |
| 内容 | 歳末寄せ植え教室 |
| 参加者数 | 13名 ※定員20名 |

9 介護保険事業

財 源：介護保険事業収入、障害福祉サービス事業収入、町受託金
 体 制：正職員3名、嘱託・パート職員4名

(1) 訪問介護事業

①訪問介護事業（事業費：14,914千円）

【事業の概要】

・介護予防訪問介護事業

総合事業における要支援1又は要支援2の認定を受けた方を対象に、住み慣れた地域で安心して生活を継続することができるように、要介護状態になることを出来る限り予防することを目的とし、本人が出来ることは出来る限り本人が行うことを基本として、掃除や買い物等の生活援助をした。

・訪問介護事業

介護保険に基づく要介護1から要介護5の認定を受けた方を対象に、利用者及びその家族の状態、希望を踏まえてサービス計画を作成すると共に、在宅生活に対する支援として、食事介助、排泄援助等の介護や、掃除、通院介助等の援助を介護職員の訪問により実施した。

【介護度別の利用者実人数】

| サービス内容区分 | 介護予防訪問介護 | | | 訪問介護 | | | | | 合計 |
|----------|----------|------|------|------|------|------|------|------|----|
| | 事業対象者 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | |
| 実人数(人) | 0 | 2 | 5 | 5 | 7 | 3 | 3 | 1 | 26 |

【月別のサービス提供状況】

| 区分 | 介護予防訪問介護 | | 訪問介護 | | 利用者実人数合計(人) | 提供延回数合計(回) |
|--------|-----------|----------|-----------|----------|-------------|------------|
| | 利用者実人数(人) | 提供延回数(回) | 利用者実人数(人) | 提供延回数(回) | | |
| 4月 | 5 | 34 | 19 | 210 | 24 | 244 |
| 5月 | 5 | 32 | 19 | 180 | 24 | 212 |
| 6月 | 5 | 38 | 18 | 226 | 23 | 264 |
| 7月 | 5 | 38 | 18 | 223 | 23 | 261 |
| 8月 | 6 | 39 | 17 | 206 | 23 | 245 |
| 9月 | 6 | 39 | 19 | 218 | 25 | 257 |
| 10月 | 6 | 40 | 20 | 228 | 26 | 268 |
| 11月 | 7 | 46 | 20 | 221 | 27 | 267 |
| 12月 | 7 | 47 | 19 | 206 | 26 | 253 |
| 1月 | 7 | 45 | 18 | 191 | 25 | 236 |
| 2月 | 6 | 42 | 19 | 194 | 25 | 236 |
| 3月 | 7 | 52 | 19 | 240 | 26 | 292 |
| 合計 | 72 | 492 | 225 | 2,543 | 297 | 3,035 |
| R2目標数値 | 80 | 500 | 200 | 2,100 | 280 | 2,600 |
| R1年度計 | 94 | 637 | 188 | 2,067 | 282 | 2,704 |
| H30年度計 | 136 | 793 | 165 | 1,302 | 301 | 2,095 |

②障害福祉サービス事業（事業費：1,408千円）

ア 居宅介護・重度訪問介護サービス

【事業の概要】

障害者総合支援法に基づき障がい者宅へ介護職員が訪問し、在宅生活に必要な食事・掃除などの援助や、排泄・入浴など身体介護を提供すると共に、生活に関する相談や助言など生活全般にわたる援助を実施した。

【月別のサービス提供状況】

| 区分 | 利用者実人数(人) | 身体介護延回数(回) | 家事援助延回数(回) | 提供延回数合計(回) |
|--------|-----------|------------|------------|------------|
| 4月 | 7 | 8 | 97 | 105 |
| 5月 | 7 | 9 | 90 | 99 |
| 6月 | 7 | 9 | 101 | 110 |
| 7月 | 7 | 9 | 106 | 115 |
| 8月 | 7 | 9 | 101 | 110 |
| 9月 | 7 | 8 | 101 | 109 |
| 10月 | 7 | 9 | 109 | 118 |
| 11月 | 7 | 9 | 103 | 112 |
| 12月 | 7 | 8 | 94 | 102 |
| 1月 | 7 | 9 | 63 | 72 |
| 2月 | 6 | 10 | 55 | 65 |
| 3月 | 6 | 11 | 68 | 79 |
| 合計 | 82 | 108 | 1,088 | 1,196 |
| R2目標数値 | 90 | 150 | 1,000 | 1,150 |
| R1年度計 | 93 | 118 | 1,171 | 1,289 |
| H30年度計 | 98 | 161 | 1,121 | 1,282 |

イ 移動支援サービス

【事業の概要】

単独で外出することが困難な障がい者を対象に、日常生活上必要な外出及び余暇活動や社会参加の為の外出する際に、安全に外出できるよう介護職員が同行し必要な支援を行った。

【月別利用状況】

| 区分 | 利用人数(人) | 利用回数(回) |
|--------|---------|---------|
| 4月 | 2 | 4 |
| 5月 | 2 | 5 |
| 6月 | 2 | 5 |
| 7月 | 2 | 4 |
| 8月 | 2 | 4 |
| 9月 | 2 | 5 |
| 10月 | 2 | 4 |
| 11月 | 2 | 4 |
| 12月 | 2 | 4 |
| 1月 | 2 | 4 |
| 2月 | 2 | 4 |
| 3月 | 2 | 4 |
| 合計 | 24 | 51 |
| R1年度計 | 94 | 58 |
| H30年度計 | 35 | 59 |

③ 軽度生活援助事業

【事業の概要】

在宅のひとり暮らしの高齢者等に対して、自立した生活の継続を可能にするとともに要介護状態への進行を防止する為、軽易な日常生活上の援助に必要な体制を整えた。

- ・サービス利用者 実績なし

【月別利用状況】

| 区分 | 利用人数(人) | 訪問数(回) | 利用時間(分) |
|--------|---------|--------|---------|
| R2年度計 | 0 | 0 | 0 |
| R1年度計 | 9 | 18 | 1,080 |
| H30年度計 | 34 | 120 | 7,260 |

(2) 居宅介護支援事業（事業費：12,525千円）

【事業の概要】

介護保険に基づく認定を受けた方を対象に、介護支援専門員が介護サービスの利用を希望される方の心身の状態や、環境、意向、更にはご家族の要望を踏まえた居宅サービス計画を作成し、利用者が安心してサービスを利用できるように関連機関やサービス提供事業所との連絡調整を実施した。

【介護度別の利用者実人数】

| サービス内容区分 | 介護予防支援 | | | 居宅介護支援 | | | | | 合計 |
|----------|--------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----|
| | 介護度 事業対象者 | 要支援 1 | 要支援 2 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | |
| 実人数(人) | 1 | 3 | 16 | 23 | 19 | 11 | 8 | 3 | 84 |

【月別のサービス提供状況】

(単位：件)

| 区分 | 計画数 | | 合計 |
|--------|--------|--------|-------|
| | 介護予防支援 | 居宅介護支援 | |
| 4月 | 18 | 63 | 81 |
| 5月 | 18 | 61 | 79 |
| 6月 | 19 | 62 | 81 |
| 7月 | 19 | 60 | 79 |
| 8月 | 20 | 67 | 87 |
| 9月 | 19 | 65 | 84 |
| 10月 | 20 | 64 | 84 |
| 11月 | 20 | 65 | 85 |
| 12月 | 22 | 69 | 91 |
| 1月 | 22 | 66 | 88 |
| 2月 | 21 | 65 | 86 |
| 3月 | 22 | 63 | 85 |
| 合計 | 240 | 770 | 1,010 |
| R2目標数値 | 250 | 850 | 1,100 |
| R1年度計 | 298 | 717 | 1,015 |
| H30年度計 | 353 | 736 | 1,089 |

障がい者支援拠点

10 障がい者支援事業

財 源：障害福祉サービス事業収入、就労支援事業収入、町受託金
 体 制：正職員3名、嘱託・パート職員5名

(1) 就労継続支援事業

① 本部事業（事業費：14,594千円）

【事業の概要】

利用者及びご家族のニーズに応じて策定した個別支援計画に基づき、就労に必要な知識・能力の向上の為に訓練、支援を行った。また、行政や相談支援事業所等と連携し、生活面や就労に向けた支援を行った。

【月別の利用者数：定員20人】

(単位：人)

| 区分 | 令和2年度 | | | | | 合計 利用者数 | R元年度 | H30年度 |
|----|-----------|-----------|-----------|----------------|----------------|------------|------------|------------|
| | 知的 障がい | 身体 障がい | 精神 障がい | 知的障がい 身体障がい | 身体障がい 精神障がい | | 合計 利用者数 | 合計 利用者数 |
| 4月 | 5 | 3 | 12 | 1 | 0 | 21 | 15 | 15 |
| 5月 | 5 | 3 | 11 | 1 | 0 | 20 | 16 | 13 |
| 6月 | 6 | 3 | 10 | 1 | 0 | 20 | 16 | 13 |

| | | | | | | | | |
|------|----|----|-----|----|---|-----|-----|-----|
| 7月 | 6 | 3 | 10 | 1 | 0 | 20 | 16 | 14 |
| 8月 | 6 | 3 | 10 | 1 | 0 | 20 | 17 | 14 |
| 9月 | 7 | 3 | 10 | 1 | 0 | 21 | 17 | 14 |
| 10月 | 7 | 3 | 10 | 1 | 0 | 21 | 17 | 15 |
| 11月 | 7 | 3 | 10 | 1 | 0 | 21 | 17 | 16 |
| 12月 | 7 | 3 | 11 | 1 | 0 | 22 | 17 | 16 |
| 1月 | 7 | 3 | 11 | 1 | 0 | 22 | 17 | 16 |
| 2月 | 7 | 3 | 11 | 1 | 0 | 22 | 17 | 15 |
| 3月 | 7 | 3 | 11 | 1 | 0 | 22 | 19 | 15 |
| 合計 | 77 | 36 | 127 | 12 | 0 | 252 | 201 | 176 |
| 目標数値 | | | | | | 210 | | |

② 受託事業（事業費：1,394千円）

各企業からの受託作業を行った。

| 作業内容 | 企業名 |
|-----------------|-----------------|
| ゴムの二次加工 | (有)アオイ加工 |
| 紙袋の二次加工 | (株)ハローバッグ |
| 箱折り | (株)大鹿印刷所 |
| シール貼り | (株)大鹿印印刷 |
| 箱詰め | コーセーフーズ |
| 袋詰め | コーセーフーズ/岐阜クリエート |
| 茶の実の選別 | 緑門 |
| 受付・案内等 | まちカフェ |
| 旧デイサービスセンター清掃管理 | 大野町 |
| コインランドリー清掃 | いび川農業協同組合 |

③自主製品販売事業（事業費：428千円）

ボカシ・小物（編み物、縫製、木工等）の製作、販売を行った。

| 製品 | 販売所 |
|-------------|---|
| ボカシ 小物製品 | 就労支援センターもみじの里 ルート303グリーンハウス よってみーないび パレットピアおおの |
| | よってみーな大野 ※新型コロナウイルスの影響によりバザー等への出店は中止 |

【事業別収入】

(単位：円)

| 区分 | R2年度 | 目標数値 | R元年度 | H30年度 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | アオイ加工 | 51,221 | 60,000 | 62,680 |
| ハローバッグ | 409,152 | 450,000 | 434,588 | 448,198 |
| まちカフェ | 0 | 84,000 | 62,000 | 84,000 |
| 大鹿印刷 | 117,314 | 255,000 | 250,256 | 229,812 |
| 厚生産業 | 0 | 25,000 | 25,835 | 0 |
| コーセーフーズ | 285,371 | 290,000 | 286,150 | 134,601 |
| いび川農協 | 236,000 | 280,000 | 300,000 | 304,000 |
| オークニ | 0 | 4,500 | 4,216 | 5,500 |
| 緑門 | 70,330 | 80,000 | 76,140 | 52,740 |
| 岐阜クリエート | 26,076 | 0 | 0 | 0 |
| 大野町健康課 | 70,000 | 11,250 | 11,250 | 11,250 |
| 大野町福祉課 | 90,000 | 180,000 | 160,000 | 0 |
| 合計 | 1,355,464 | 1,719,750 | 1,673,115 | 1,289,801 |

(単位：円)

| 自主製品事業 | 区分 | R2年度 | 目標数値 | R1年度 | H30年度 |
|--------|-----|---------|-----------|-----------|---------|
| | ぼかし | 94,200 | 150,000 | 141,560 | 131,400 |
| | 小物 | 334,050 | 915,000 | 912,880 | 639,600 |
| | 合計 | 428,250 | 1,065,000 | 1,054,440 | 771,000 |

【月別の平均工賃】

事業収入より生産活動に必要な経費を引いた額を工賃として支払った。

| 月 | 平均工賃 | 賞与 | 平均工賃 |
|--------|-------|----------------------------|--------|
| 4月 | 4,636 | 夏季賞与 | 4,930 |
| 5月 | 4,326 | 目標数値 | 6,000 |
| 6月 | | 冬季賞与 | 16,293 |
| 7月 | 4,058 | 目標数値 | 17,500 |
| 8月 | 4,640 | 年度末賞与 | 24,047 |
| 9月 | 4,997 | 目標数値 | 47,000 |
| 10月 | 4,635 | 【月別】 最高：10,056 最低：9 | |
| 11月 | 4,633 | | |
| 12月 | 4,640 | | |
| 1月 | 5,413 | 【賞与】 最高：38,396 最低：12 | |
| 2月 | 4,996 | | |
| 3月 | 5,415 | | |
| 月額平均工賃 | 4,366 | R2平均工賃 | 7,069 |
| 目標数値 | 4,500 | R1平均工賃 | 10,170 |

(単位：円)

※月当たりの工賃最低額、賞与の最低工賃額は、月1回程度の通所利用者

◇新型コロナウイルスの影響により以下の事業を中止した
 野外事業、交流事業、指導訓練、レクリエーション

(2) 相談支援事業

① 一般相談支援事業 (事業費：3,901千円)

【事業の概要】

大野町から地域生活支援事業に基づく相談支援事業の委託を受け、障がい者・児の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、障がい者・児やその家族、地域住民、各関係機関からの相談に応じた。福祉サービスの利用に関する助言や不安の解消に関する相談等を行い、各関係機関と連携を取りながら情報提供、情報共有を行う中で、特定相談支援事業・障害児相談支援事業（障害福祉サービスの利用）への移行に繋げる等、障がい者・児が地域で安心して暮らせるよう支援した。また、町内で暮らす障がいのある方により良い支援の提供と、障がいがあっても暮らしやすい大野町の実現の為、障がい者支援関係者のネットワークの構築を行い、相談支援専門員としての質の向上を図った。

【利用している障がい者・児の人数】

(単位：人)

| 区分 | 知的障がい | | 身体障がい | | 精神障がい | | その他 | | 合計利用者数 |
|--------|-------|---|-------|---|-------|---|------|---|--------|
| | 者 | 児 | 者 | 児 | 者 | 児 | 者 | 児 | |
| R2年度合計 | 6 | 5 | 7(2) | 1 | 26(2) | 0 | 1 | 2 | 48(2) |
| R1年度合計 | 12(1) | 2 | 6(1) | 0 | 13(1) | 0 | 4(1) | 2 | 39(2) |

※新規で利用した障がい者等の人数…8人

※()内は重複障がい者数

【支援方法】

(単位：件)

| 区分 | 訪問 | 来所 | 同行 | 電話 | 電子メール | 個別支援会議 | 関係機関 | その他 | 合計 |
|------|----|----|----|-----|-------|--------|------|-----|-----|
| R2年度 | 8 | 17 | 1 | 119 | 11 | 7 | 127 | 2 | 292 |
| R1年度 | 29 | 10 | 13 | 126 | 11 | 4 | 123 | 9 | 325 |

【支援内容】

(単位：件)

| 支援内容 | 相談数 | |
|------------------|------|------|
| | R2年度 | R1年度 |
| 福祉サービスの利用に関する支援 | 55 | 60 |
| 障害や症状の理解に関する支援 | 0 | 0 |
| 健康医療に関する支援 | 100 | 103 |
| 不安の解消・情緒安定に関する支援 | 13 | 6 |
| 保育・教育に関する支援 | 4 | 1 |
| 家族関係・人間関係に関する支援 | 40 | 17 |
| 家計・経済に関する支援 | 15 | 65 |
| 生活技術に関する支援 | 26 | 57 |
| 就労に関する支援 | 37 | 9 |
| 社会参加・余暇活動に関する支援 | 0 | 0 |
| 権利擁護に関する支援 | 0 | 4 |
| その他 | 2 | 3 |
| 相談件数合計 | 292 | 325 |
| 目標数値 | 300 | 500 |

②特定相談支援事業（事業費：2,376千円）

【事業の概要】

障がい者の抱える課題に対して、適切なサービスが提供できるよう計画を作成し、ひとりひとりのニーズに合わせたサービスが継続して利用できているか、また新たな課題はないか等、定期的にモニタリングを行うことで柔軟な対応を行った。

また、家族支援が必要な相談も増えてきており、関係機関との連携を図りながら迅速な対応を心掛け取り組んだ。

【サービス利用支援・サービス継続利用支援実施状況】

(単位：件)

| | サービス利用支援 (利用計画作成) | サービス継続利用支援 (モニタリング) ※加算含 | 合計 |
|--------|----------------------|-----------------------------|-----|
| R2年度合計 | 74 | 117 | 191 |
| 目標数値 | 75 | 110 | 185 |
| R1年度合計 | 70 | 106 | 176 |

【障がい種別・市町村・契約者数】

(単位：人)

| | 大野町 | 池田町 | 揖斐川町 | 神戸町 | 瑞穂市 | 契約者数 |
|--------|---------|-----|------|-------|-----|---------|
| 身体障がい | 10 (5) | 1 | 2 | 1 (1) | 0 | 14 (6) |
| 知的障がい | 24 (2) | 2 | 5 | 1 (1) | 1 | 33 (3) |
| 精神障がい | 31 (3) | 3 | 2 | 0 | 0 | 36 (3) |
| 難病 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 (0) |
| R2年度合計 | 65 (10) | 6 | 9 | 2 (2) | 1 | 83 (12) |
| R1年度合計 | 46 (8) | 9 | 11 | 0 (0) | 1 | 67 (8) |

※ () 内は重複障がい者数

③ 障害児相談支援事業（事業費：3,674千円）

【事業の概要】

障がいのある児童が障害児通所支援（児童発達支援や放課後等デイサービス等）の利用の為に、障害児支援利用計画の作成やモニタリングを定期的に行った。町外からの相談件数も多く、関係機関との連携を図りながら迅速な対応を心掛け取り組んだ。

【サービス利用支援件数・サービス継続利用支援実施状況】（単位：件）

| | サービス利用支援 (利用計画作成) | サービス継続利用支援 (モニタリング) | 合計 |
|--------|----------------------|------------------------|-----|
| R2年度合計 | 109 | 112 | 221 |
| 目標数値 | 130 | 140 | 270 |
| R1年度合計 | 132 | 148 | 280 |

【障がい種別・市町村・契約者数】（単位：人）

| | 大野町 | | 池田町 | | 揖斐川町 | | 本巣市 | | 契約者数 | |
|--------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 身体障がい | 6 | (2) | 1 | (1) | 1 | (1) | 1 | (1) | 9 | (5) |
| 知的障がい | 15 | (9) | 8 | (1) | 6 | (1) | 1 | (1) | 30 | (12) |
| 精神障がい | 12 | (7) | 3 | | 2 | | 0 | | 17 | (7) |
| 難病 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | (0) |
| その他 | 68 | | 8 | | 0 | | 0 | | 76 | (0) |
| R2年度合計 | 101 | (18) | 20 | (2) | 9 | (2) | 2 | (2) | 132 | (24) |
| R1年度合計 | 100 | (6) | 26 | (2) | 11 | (0) | 1 | (0) | 138 | (8) |

子育て支援拠点

1.1 東さくらこども園事業

財 源：保育事業収入、町補助金収入

体 制：正職員11名、パート職員18名

(1) 東さくらこども園事業（事業費：122,439千円）

【事業の概要】

保育を必要とする子を預かり、「生きる力を育む教育・保育～自己決定の出来る子に」を保育理念として、入所する子の最善の利益を考慮しながら、就学前の人間形成の中で一番大事な時を、自ら考え、決定し実行出来る子を目指した。また、教育・保育の質の向上を図るため、第三者評価を受審した。

【特別な保育事業】

| | 内 容 |
|--------|---------------------------|
| 障がい児保育 | 障がいを持った子に適したきめ細やかな保育 |
| 延長保育 | 午前7時～午後7時までの保育 |
| 乳児保育 | 生後3ヶ月からの0歳児保育 |
| 一時保育 | 保護者の傷病等による緊急時の一時的な保育 |
| 体育教育 | 楽しみながら運動能力を伸ばす教育 |
| 英語教育 | 楽しみながら英語に親しむ教育 |
| 情操教育 | わらべうた遊びなど伝承を用いた情緒を豊かにする教育 |

【月別の入所者数】（単位：人）

| 区分 | 令和2年度 | | | | | | | R元年度 | H30年度 |
|----|-------|----|----|----|----|----|-----|------|-------|
| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 月計 | | |
| 4月 | 1 | 10 | 18 | 33 | 36 | 35 | 133 | 137 | 118 |
| 5月 | 1 | 10 | 17 | 32 | 37 | 34 | 131 | 139 | 117 |

| | | | | | | | | | |
|--------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|
| 6月 | 1 | 9 | 17 | 32 | 37 | 35 | 131 | 140 | 118 |
| 7月 | 4 | 10 | 18 | 32 | 37 | 35 | 136 | 140 | 120 |
| 8月 | 4 | 10 | 18 | 32 | 37 | 35 | 136 | 142 | 120 |
| 9月 | 6 | 10 | 18 | 32 | 37 | 35 | 138 | 144 | 123 |
| 10月 | 6 | 10 | 18 | 32 | 37 | 35 | 138 | 144 | 125 |
| 11月 | 6 | 10 | 18 | 32 | 37 | 35 | 138 | 143 | 127 |
| 12月 | 6 | 10 | 18 | 32 | 37 | 35 | 138 | 143 | 127 |
| 1月 | 6 | 10 | 18 | 32 | 37 | 35 | 138 | 144 | 129 |
| 2月 | 6 | 10 | 18 | 32 | 37 | 35 | 138 | 144 | 130 |
| 3月 | 6 | 10 | 18 | 32 | 37 | 35 | 138 | 146 | 131 |
| 合計 | 53 | 119 | 214 | 385 | 443 | 419 | 1,633 | 1,706 | 1,485 |
| R2目標数値 | 36 | 162 | 162 | 384 | 420 | 420 | 1,584 | 1,560 | 1,596 |

(2) 子育て支援センター事業（事業費：8,272千円）

【事業の概要】

乳幼児を持つ親が安心して相談できる場作りを行うと共に、親の孤立感を和らげ育児不安や育児負担の軽減を図るため、子育ての情報提供や子育てサークル等への支援を通して安心して子育てが出来るよう推進した。

【事業の内容】

（単位：人）

| 令和2年度 | | | | R1 利用者 数 | H30 利用者 数 |
|-------------|-------------------------|------------------------------|------|----------------|-----------------|
| 名称 | 実施日 | 内容 | 利用者数 | | |
| すくすく教室 | 毎週水曜日 | 行事や講師による遊びなどで親子の触れ合いを行った。 | 209 | 461 | 521 |
| 子育て支援ネットワーク | 毎月第4木曜日 (面談) | 専門家による面談・相談で育児不安の軽減を図った。 | 14 | 48 | 85 |
| 子育てサロン | 年1回 12月21日(月)～25日(金) | 第一公民館を利用し、親子で触れ合って遊び会を行った。 | 28 | 64 | 72 |
| メール配信 | 週1回・随時 | 携帯電話に支援センターの予定や町の子育て情報を配信した。 | — | — | — |
| 園庭開放 | 月曜日～金曜日 午前9時30分～午後3時 | 園庭・支援室の開放を行った。 | 641 | 1,331 | 1,653 |
| サークル活動 | 毎週火曜日 | 母親の自主的なサークル活動を推進した。 | 12 | 136 | 114 |
| 出前教室 | 毎月1～2回 | 第一公民館で出前保育を行った。 | 59 | 246 | 232 |
| 子育て通信 | 毎月1回 | 毎月の活動計画や子育て情報を掲載した通信を配布した。 | — | — | — |

1 2 その他の事業

(1) 岐阜県共同募金会事業

共同募金事業の推進を図るため、社会福祉活動を支える重要な財源であるという趣旨の周知を行い、募金運動を展開した。

| 期 間 | 令和2年10月1日～12月31日 | | |
|-------------|------------------|-----------|---------------|
| 募金種別 (円) | 戸別募金 | 3,307,000 | 広報委員に依頼 |
| | 法人募金 | 405,000 | 依頼文書発送による口座振込 |
| | 職域募金 | 5,612 | 本会・町役場での募金運動 |
| | その他 | 106,264 | 赤い羽根協力店等での募金 |
| 合 計 | 3,823,876 | | |

・街頭募金運動は中止

※募金運動期間後の募金額を含む

(2) 日本赤十字社事業

日本赤十字社事業を推進するため社資を募集し、交付金にて献血事業支援、災害救援、奉仕団活動支援など、地域福祉に関する事業を行った。

| 期 間 | 令和2年5月1日～6月19日 | |
|------------|----------------|-----------|
| 募金額 (円) | 一般社資 | 3,314,500 |
| | 法人社資 | 85,000 |
| | 合 計 | 3,399,500 |

(3) 災害義援金募集事業

災害における義援金の募集受付を行い、日本赤十字社岐阜県支部へ送金した。

【日本赤十字社岐阜県支部】

| 義援金名 | 募金額 (円) |
|-------------------|---------|
| 熊本県南豪雨義援金 | 25,000 |
| 令和2年7月岐阜県豪雨災害義援金 | 5,005 |
| 令和2年7月福岡県豪雨災害義援金 | 5,000 |
| 鹿児島県令和2年7月豪雨災害義援金 | 5,000 |
| 令和2年7月大分県豪雨災害義援金 | 5,000 |
| 令和2年7月佐賀県豪雨災害義援金 | 10,000 |
| 令和2年7月島根県豪雨災害義援金 | 5,000 |
| 長野県令和2年7月豪雨災害義援金 | 5,000 |
| 令和2年7月山形県豪雨災害義援金 | 5,000 |
| 合 計 | 70,005 |

(4) 大野町戦没者追悼式

令和2年9月25日(金) 新型コロナウイルスの影響により中止